

# 令和3年度 第1回 二宮町ごみ減量化研究会 会議次第

日時 令和3年9月29日(水) 14時から  
場所 町民センター2Aクラブ室

## 1. 開 会

## 2. 会長及び副会長の選任

## 3. 会長あいさつ

## 4. 議 題

### (1) 二宮町一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

#### ①ごみ処理の現状について

#### ②ごみ減量化に向けた目標および施策等について

### (2) 今後のごみ減量化研究会について

### (3) その他

## 5. 閉 会

# 二宮町一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

## ごみ減量化に向けた目標および施策等について

### 1. 目標値

項目	現計画の目標値（変更前）	本計画の目標値（変更後）
1人1日あたりの排出量（原単位）	平成38年度までに776g以下 （平成27年度比で69g/人・日削減）	令和8年度までに798g以下 （平成30年度比で35g/人・日削減）
資源化率	平成38年度は33.2%以上を維持	令和8年度は39.0%以上を維持
最終処分量	平成38年度までに67t以下	令和8年度までに70t以下

### 2. ごみ処理の施策

#### ①家庭系ごみの排出抑制

##### ○厨芥類の発生抑制のための普及啓発

食品ロス削減（「食材の計画的な購入」、「賞味期限・消費期限の正しい理解」、「不要なものを買わない」等）の取り組みにより、厨芥類の発生を抑制できるよう普及啓発に努める。

##### ○厨芥類の排出抑制のための普及啓発

「生ごみの水切り（水分もうひとしぼり）の普及啓発」や「生ごみ処理機の活用」等、町民が取り組むことができる方策を、広報紙、ホームページ、SNSや二宮町地域環境推進員等を通じて普及啓発に努める。特に、キエーロ等の生ごみ処理機の活用に関しては、補助制度の活用を促進するほか、引き続き、イベントの開催等を通じ、より一層の普及啓発を図る。

##### ○家庭系ごみの有料化等の実施及び研究

現在は可燃ごみを指定ごみ袋制（有料化）としており、負担を軽減しようとする経済的インセンティブ（動機付け）が働き、排出抑制及び分別意識の向上が期待できるため、料金の見直しなどの研究を継続的に行う。

また、指定ごみ袋については、環境に配慮したごみ袋の導入やパッケージデザインを変更することなどにより、効果的な環境啓発を行う。

##### ○家庭系ごみの減量化・資源化策の検討

ごみ減量化・資源化を図るための方策を町民等と一緒に検討するとともに、ごみ減量化・資源化をより効率的に推進するため、広報紙やホームページなどの定例的な啓発に加え、年代や場面などのライフスタイルに応じた啓発方法についても検討する。

#### ②事業系ごみの排出抑制

##### ○多量排出事業者への指導

事業系ごみの多量排出事業者に対しては、減量化・資源化等の推進や、処理計画書の策定義務付け等、指導を強化する。

また、立ち入り調査等も実施し、減量化・資源化等の推進を含め適正処理を促進する。

##### ○事業系ごみ手数料の研究

現在の手数料について、排出者責任を徹底する観点から、適正水準となるよう料金体系を含めた見直しを検討する。

##### ○事業系ごみの排出ルール策定と指導

資源化による排出抑制を進めるため、受け入れられる事業系ごみの排出ルールを策定し、紙類等の資源化可能なごみについては、引き取りを拒否するなどの排出ルールの徹底に向けた指導を強化する。

また、資源物や不適正物の混入を防ぐため、搬入時の検査を強化する。

##### ○厨芥類の排出抑制のための普及啓発

町内事業者協力のもと、売り場において消費者である町民向けに食品ロス削減（「食材の計画的な購入」、「賞味期限・消費期限の正しい理解」等）に関わる啓発を行うことで、事業者から排出される厨芥類の排出抑制を図る。

#### ③資源化の推進

##### ○二宮町ウッドチップセンターの運営

家庭等から排出される剪定枝の資源化施設を運営し、継続的に資源化を図る。

##### ○容器包装プラスチック等の広域処理による効率的な資源化

容器包装プラスチック及びペットボトルについては、引き続き、大磯町リサイクルセンターで広域処理をすることにより効率的な資源化を推進するとともに、可燃・不燃残渣の発生抑制に向けて、適正な分別が図られるよう啓発を行う。

#### ④分別排出の徹底、資源化の促進等

##### ○分別収集区分、排出方法の統一

広域ブロック内での分別収集区分及び排出方法を統一していくことにより、ごみ処理を効率的に推進し、また、社会情勢や技術革新を踏まえ、最適な分別区分となるように検討する。

##### ○分別収集区分の普及啓発

平成27年4月に変更した分別収集区分については、引き続き、ホームページ等を通じて町民、事業者への普及啓発に努める。

##### ○分別排出の徹底

家庭系ごみについては、収集時における指導（警告ステッカー）等を通じて、分別排出の徹底を継続的に実施する。

事業系ごみについては、施設搬入時の検査等により、分別排出の徹底を継続的に実施する。

##### ○資源化品目の質及び量の維持・品目拡大の研究

これまで分別収集区分の変更や施設整備により、一定の資源化品目を拡大することができた。今後品目を拡大するには、更なる施設整備が必要となり、費用や分別の負担が発生することのほか、これまで有償で資源化を行っていた品目が社会情勢等の影響によって、逆有償となる可能性も想定される。その影響を見据えつつ、資源枯渇の問題等からも更なる資源化が求められている状況を踏まえ、資源化している品目のより効率的な処理方法の研究や新たに品目を追加する検討を行いつつ、資源化品目の質の維持・向上を図る。

○**資源化品目の質及び量の維持・向上に向けた普及啓発**

**効率的に資源化を推進するための排出方法（動画等）やごみの品目索引等、引き続き、広報紙、ホームページ等を通じて町民、事業者への普及啓発に努めるとともに、このほかの啓発方法についても検討する。**

○**ごみ減量化・資源化協力店制度の推進**

二宮町では平成 23 年度より「可燃ごみ水分削減協力店」による指定袋販売店の設定を実施している。今後もさらなる普及に努める。

⑤**最終処分量の削減**

○**埋立ごみの区分の見直し**

最終処分量の削減のため、現在は埋立ごみとされている不燃ごみの区分及び処理方法の見直しを検討し、資源化可能なものについては資源化を図る。

⑥**町民、事業者、行政との協働**

○**町民、事業者、行政の役割意識の向上**

**排出抑制や資源化を協働して進めるためには、町民、事業者、行政がそれぞれの立場の役割を相互に理解する必要がある。そのため、役割分担や役割意識が向上するような普及啓発を引き続き推進するとともに、SDGs の観点から様々な問題等についても積極的に啓発する。**

町民は、もったいないの心でライフスタイルを見直し、発生・排出抑制に努めるとともに、分別の徹底によりごみの減量化・資源化の推進に努める。

また、環境セミナー等のイベントへ積極的に参加し、意識の向上に努める。

事業者は、事業活動に伴って発生する廃棄物の減量化・資源化に努めるとともに、すぐごみにならない製品の供給や再生品の販売等、ごみの減量につながる事業活動に努める。

行政は、町民や事業者が発生抑制や資源化の推進、分別の徹底に取り組む環境を整備し、環境セミナーや広報紙等を活用し町民・事業者の意識向上に努める。

また、収集した廃棄物の適正処理とさらなる減量化・資源化に努める。

○**環境セミナーや講習会の開催**

広報紙、ホームページ、SNS やパンフレット等による情報発信や環境セミナー、講習会の開催等を通じて、町民、事業者への啓発を行う。

町民・事業者の意識向上を図るため、二宮町地域環境推進員等と協働して啓発活動を実施する。

また、町民による交流会や自主活動についても積極的に支援し、ごみの減量化・資源化について町民・事業者の意識向上に努める。

⑦**広域処理施設の整備促進**

○**廃棄物処理施設の自主基準値の設定**

今後、新設する施設について、周辺環境への負荷低減、経済性等の観点から適切な施設整備を行っていくとともに、近隣の状況等を考慮し、自主基準値の設定を検討する。

○**適正な処理規模の設定**

施設整備にあたっては、減量化・資源化による処理量の状況を判断しながら、過大な施設とならないよう、適切な処理規模を検討する。

○**不燃物処理施設の整備検討**

平塚市遠藤原一般廃棄物最終処分場の残容量や埋立状況等を把握しながら、不燃物処理施設の整備について検討する。

なお、技術革新を踏まえ、不燃ごみ等の新たな有効活用の研究をしつつ、施設整備について検討していくものとする。

⑧**ごみ処理経費の抑制**

○**ごみ処理経費の抑制**

公平な費用負担や民間活力の活用のほか、分別収集区分や排出方法の統一によって処理の効率化を図ることで経費の削減を図るものの、**資源物の逆有償化といった社会情勢も予測されることから、ごみ処理広域化によるスケールメリットを十分に活かしながら、ごみ処理経費全体の抑制を図る。**

○**効率的なごみの輸送**

収集体制の見直しや中継施設の活用等、効率的な輸送体制を検討し、収集・運搬経費の削減を図ってきたが、更なる経費削減に向けて、**施設配置のあり方を踏まえ、収集区分や収集体制の見直しや中継機能を活用するなど、収集運搬経費の削減を図る。**